

No.22 快適な生活環境の整備＜公共交通＞ （企画政策課）

令和5年度までにめざす姿

米子市と町の中心部への移動の利便性の向上をめざし、地域全体を見渡した持続可能な公共交通ネットワークを再構築します。

令和元年度にめざした成果

利用者維持及び効率の良い運営に努めます。

令和元年度にめざした活動

ふれあいバス(会見エリア、西伯エリア)について再編検討を進めます。

令和元年度の成果

民間路線バスから町営デマンドバスへ再編し効率化を図りました。再編により交通空白地域大部分が解消されました。

令和元年度の問題

ふれあいバス利用者は年々減り続けています。新規利用者が増えていません。

令和2年度以降の方策

（1）達成できた事項をさらに伸ばす方策

検討会等で住民の声を踏まえた利用しやすい交通を考えます。
啓発活動を積極的に実施します。

（2）解決すべき問題への方策

一度乗ってみる。乗って残すという意識付けが大切です。
交通事業者の撤退に備えた受託者の育成が必要です。

（3）新たに取組む方策

免許返納しやすい環境づくりに取り組みます。役場、協議会も率先してノーマイカーデーや乗車キャンペーン等に取り組みます。